

道の駅の立地特性に関する分析

岡 英紀¹・毛利 雄一²・森尾 淳³・原田 知可子⁴・廣瀬 健⁵・寺部 慎太郎⁶

¹正会員 一般財団法人計量計画研究所 交通・社会経済部門（〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-9）
E-mail: hidekioka@ibs.or.jp

²正会員 一般財団法人計量計画研究所 研究本部（〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-9）
E-mail: ymohri@ibs.or.jp

³正会員 一般財団法人計量計画研究所 都市地域・環境部門（〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-9）
E-mail: jmorio@ibs.or.jp

⁴正会員 一般財団法人計量計画研究所 データサイエンス室（〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-9）
E-mail: charada@ibs.or.jp

⁵正会員 一般財団法人計量計画研究所 交通・社会経済部門（〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-9）
E-mail: thirose@ibs.or.jp

⁶正会員 東京理科大学理工学部土木工学科（〒278-8510 千葉県野田市山崎2641）
E-mail: terabe@rs.tus.ac.jp

「道の駅」は、24時間無料で利用できる駐車場、トイレなどの「休憩機能」、道路情報、観光情報、緊急医療情報などの「情報提供機能」、文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」を有する地域の拠点である。地元の農林水産品やその加工品の販売、農林水産品を活用した飲食サービスの提供による地方創生の拠点としてだけでなく、近年、災害時の被災者の避難場所、ボランティアの拠点となるなど、新たな役割にも期待されている。

本稿では、道の駅の最適な配置や新たな機能の検討の基礎資料とするために、関東地方及び周辺地域を対象に、防災機能、地方創生の拠点機能、生活関連機能に着目して、道の駅の立地特性について考察する。

Key Words : road station, facilities of road station, location characteristics, location optimization

1. はじめに

「道の駅」は、24時間無料で利用できる駐車場、トイレなどの「休憩機能」、道路情報、観光情報、緊急医療情報などの「情報提供機能」、文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」を有する地域の拠点であり、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域の振興に寄与することを目的としたものである。1993年4月に全国の103箇所の施設が初めて「道の駅」として登録され、年々登録数は増加し、2020年7月までに1,180箇所が登録されている¹⁾。

一般道路における休憩機能の提供という道の駅の基本的な機能に加えて、地元の農林水産品やその加工品の販売、農林水産品を活用した飲食サービスの提供によって、道の駅は、当該地域における地方創生の拠点として機能している。

また、近年、道の駅の防災機能についても注目されている。例えば、2004年の新潟県中越地震や2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨で

は、道の駅が、被災者の受け入れや食事の提供、被災地の情報の収集と提供、物資の受け入れ、復旧車両やボランティアの拠点として機能した²⁾³⁾⁴⁾。このような経緯から、道の駅の防災機能として、①緊急避難対応（避難者スペース、トイレ、飲食料の提供）、②災害復旧・復興支援（拠点基地の提供、物資集積・輸送）、③生活支援対応（仮設住宅の設置、生活用品の提供）が位置づけられるとともに、国土強靱化アクションプランにも、「地域防災計画に基づき、地方公共団体と役割分担を図りながら道の駅の防災設備の整備を推進する」と記載されることとなった⁵⁾。

一方、道の駅は、市町村又はそれに代わり得る公的な団体が設置し、市町村長からの登録申請に基づき国土交通省が登録するものであり、道の駅の立地場所は、それぞれの市町村の意向に基づくものである。

このような状況から、道の駅の防災機能等の新たな機能やこの機能を活かすための最適な配置に関する検討が求められている。本稿では、関東地方及び周辺地域を対象に、防災機能、地方創生の拠点機能、生活関連機能に着目して、道の駅の立地特性について考察する。

2. 道の駅の立地と各種機能の関係

(1) 防災機能

道の駅は、防災拠点として機能することが期待されているが、災害が想定される地域に立地していると、道の駅の防災機能を発揮できない。国土数値情報を活用して、道の駅が土砂災害警戒地域や浸水想定区域に立地しているか確認すると、対象とした1都9県で84箇所、36.2%の道の駅が、災害が想定される地域に立地していた。これらの道の駅のうちの10箇所が、市町村等に災害拠点として位置づけられていた。一方、国土数値情報を活用して、道の駅周辺の避難所の数を確認すると、自動車5分圏域、10分圏域に1箇所も避難所が立地していない道の駅が複数存在していた。これらの道の駅では、道の駅の防災機能が有効に活用されることが期待される。

(2) 地方創生の拠点機能

道の駅は、地方創生の拠点として機能することが期待されており、道の駅周辺に農水産品の直売所等がない場合には、当該の道の駅の役割は大きくなる。国土数値情報の地場産業関連施設データを活用して、道の駅周辺に農水産品の直売所等が立地しているか確認すると、自動車5分圏域に地場産業関連施設がない道の駅は149箇所、10分圏域では77箇所となった。これらの道の駅では、地方創生の拠点として機能することが期待される。

(3) 周辺居住者の生活関連機能

道の駅の直売所や飲食店は、周辺居住者の生活関連施設として機能することも想定される。経済センサス基礎調査地域メッシュ統計を活用して、道の駅周辺の飲食料

表-1 災害が想定される地域の立地状況別の道の駅数

	災害が想定される地域に立地する道の駅					道の駅 総数
	土砂 災害	浸水	土砂 浸水	合計	うち 災害拠点	
茨城県	1	6	0	7	1	13
栃木県	1	5	0	6	3	24
群馬県	7	2	0	9	2	32
埼玉県	3	6	0	9	1	20
千葉県	1	7	0	8	1	29
東京都	0	0	0	0	0	1
神奈川県	2	0	0	2	0	3
新潟県	4	9	1	14	0	39
山梨県	3	4	0	7	1	21
長野県	14	8	0	22	1	50
合計	36	47	1	84	10	232

表-2 周辺地域の避難所の立地状況別の道の駅数

	5分圏域避難所数		10分圏域避難所数		道の駅 総数
	0箇所	1～3箇所	0箇所	1～3箇所	
茨城県	1	3	1	0	13
栃木県	0	8	0	1	24
群馬県	5	9	0	0	32
埼玉県	0	4	0	0	20
千葉県	4	5	1	1	29
東京都	0	0	0	0	1
神奈川県	0	2	0	1	3
新潟県	1	6	0	1	39
山梨県	1	7	0	2	21
長野県	1	11	1	2	50
合計	13	55	3	8	232

表-3 周辺地域の地場産業関連施設の立地状況別の道の駅数

	5分圏域	10分圏域	15分圏域		道の駅 総数
	地場産業 関連施設 0箇所	地場産業 関連施設 0箇所	地場産業 関連施設 0箇所	地場産業 関連施設 1～3箇所	
茨城県	11	4	0	7	13
栃木県	14	3	1	8	24
群馬県	16	10	7	12	32
埼玉県	9	2	1	4	20
千葉県	21	16	6	15	29
東京都	0	0	0	0	1
神奈川県	3	3	1	2	3
新潟県	29	17	11	23	39
山梨県	15	10	5	9	21
長野県	31	12	8	17	50
合計	149	77	40	97	232

表-4 周辺地域の生活関連機能の立地状況別の道の駅数

	15分圏域の 飲食料品小売店数			15分圏域の飲食店数			道の駅 総数
	～10店	～20店	21店～	～10店	～20店	21店～	
	茨城県	0	0	13	0	2	
栃木県	1	0	23	0	1	23	24
群馬県	1	7	24	5	5	22	32
埼玉県	1	0	19	1	0	19	20
千葉県	1	1	27	1	0	28	29
東京都	0	0	1	0	0	1	1
神奈川県	0	2	1	0	1	2	3
新潟県	2	4	33	5	6	28	39
山梨県	2	3	16	3	2	16	21
長野県	7	4	39	7	5	38	50
合計	15	21	196	22	22	188	232

品小売店、飲食店の立地状況を確認すると、自動車15分圏域の店舗が10店以下と少なく、周辺居住者の生活関連施設として機能する可能性のある道の駅が複数存在した。

3. 今後の課題

今後は、ETC2.0データを用いて、防災機能、地方創生の拠点機能等の道の駅の機能と利用実態の関係を分析し、道の駅の最適配置の検討の基礎資料としたい。

謝辞：本研究は、新道路技術会議平成31年度道路政策の質の向上に資する技術研究開発（研究テーマ：交通・物流・交流・防災拠点としての道の駅の性能照査と多目的最適配置に関する研究）の一部として実施されたものである。

参考文献

- 1) 国土交通省：道の駅案内ホームページ
- 2) 松田 泰明, 高田 尚人, 吉田 智：災害時における道路利用者の安全な避難などに貢献する「道の駅」の防災機能に関する考察, 土木計画学研究・講演集, vol.49, CD-ROM, 2014.
- 3) 九州・沖縄「道の駅」連絡会：熊本地震で「道の駅」が防災拠点として果たした役割, 2018.
- 4) 藤澤研二：地域の防災力向上に「道の駅」をどう活かすのか, 江戸川大学紀要, vol.29, pp.427-442, 2019.
- 5) 国土強靱化推進本部：国土強靱化アクションプラン 2015, 2015.

(2020.10.2 受付)